

# 偕楽園なんでも百科

付 弘道館・水戸藩

知って

楽しんで

伝えていこう



改訂版

東日本大震災  
「日本遺産」

復興記念  
認定記念

# もくじ

かいらくえん

## 偕楽園ってどんなところ . . . . . 2

偕楽園は水戸藩の庭園 . . . . .	2
好文亭ってどんな建物 . . . . .	4
偕楽園を造った徳川斉昭 . . . . .	6

## 偕楽園は楽しみがいっぱい . . . . . 8

梅林散策の楽しみ . . . . .	8
表門から「陰」の世界へ . . . . .	10
「陰」の世界から光輝く「陽」の世界へ . . . . .	12
園内の門と石碑 . . . . .	14
四季の行事 . . . . .	16
季節を彩る花木・生き物たち . . . . .	20
千波湖の魅力 . . . . .	22
千波湖とまわりの生き物たち . . . . .	24
周辺にも見どころがいっぱい . . . . .	26

こうどうかん

## 弘道館ってどんなところ . . . . . 28

弘道館は水戸藩の学校 . . . . .	28
弘道館跡を歩いてみよう . . . . .	30

み と はん

## 水戸藩ってななに . . . . . 32

水戸藩の始まりと特徴 . . . . .	32
水戸の町と水戸城 . . . . .	34
名君 徳川光圀の足跡 . . . . .	36

## 偕楽園と弘道館の震災と復興 . . . . . 38

偕楽園の震災と復興 . . . . .	38
弘道館の震災と復興 . . . . .	40

## 偕楽園公園・弘道館の整備とまちづくり . . . . . 42

偕楽園公園・弘道館の整備とまちづくり . . . . .	42
------------------------------	----

### 偕楽園のあゆみ

偕楽園年表 . . . . .	44
-----------------	----

表紙絵 湊 正雄（偕楽園公園を愛する市民の会会長）

# かいらくえん こうどうかん しんさい ふっこう 偕楽園と弘道館の震災と復興

## ひがしにほんだいしんさい 東日本大震災

「水戸の梅まつり」開催中の平成23年（2011）3月11日14時46分、東北地方の東方沖70kmの太平洋の海底で、マグニチュード9.0の大地震が発生しました。この地震により水戸地方は震度6弱の大きな地震に襲われて偕楽園も弘道館も大きな被害を受けましたが、元の状態にまで、無事に復興されました。

## かいらくえん しんさい ふっこう 偕楽園の震災と復興

偕楽園の復旧工事は、茨城県により実施され、11ヶ月後の翌年2月7日に完了し、水戸の梅まつり前に復興し、開園しました。

## こうふんてい 好文亭

好文亭は昭和20年（1945）8月2日の水戸空襲で焼失、昭和33年に復元されましたが、奥御殿は昭和44年（1969）落雷によりふたたび焼失しその後復元されました。震災では、内壁外壁の剥離・落下・ひび割れ、建具（雨戸・襖戸・板戸など）に損傷が生じました。

被災時の好文亭の外壁



修復された好文亭の外壁



黄土の採取



竹小舞の編み作業



黄土の上塗り



復旧にあたっては伝統的な技法と原材料選びなどが重視されました。好文亭の土壁に使われた竹小舞は真竹が使用され、上塗りに使われた黄土は偕楽園付近（備前町）の斜面より採取されました。

## 偕楽園南崖

偕楽園の南崖では法面や園路に崩れや亀裂が生じ、また土留木柵に損傷をうけました。

### 被災時のひびわれ



### 崩落防止の柵



見晴し広場の南崖は約120mにわたり多数の亀裂が生じました。崩落防止を図るため鋼管杭を打ち込むなどの方法で、従来の地形のまま復旧されました。

## 偕楽園の梅桜橋側

吐玉泉下の梅桜橋側では、液状化・地盤沈下が生じました。

### 被災時



### 復旧後



橋の取付け部に地盤沈下による段差が生じました。

偕楽園の表示柱も傾斜してしまいました。

地下に埋設されている上下水道も被災を受けました。

桜川駐車場でも地盤沈下があり、段差亀裂が生じました。

## 見晴亭の開設

東門の付近に見晴亭が新設されました。



見晴亭

市民有志は、郷土の誇りである偕楽園・弘道館を1日でも早く復旧そして復興させようと「偕楽園・弘道館復興支援の会」が結成され、募金活動が行なわれました。

1万6千余名から1億4千5百万円余の義援金が寄せられました。これら一連の活動は「民と偕に楽しむ」との徳川斉昭公(烈公)の偕楽園創設の理想が「市民と偕に復興する」として現代に蘇ったものと、

この活動を記念して見晴亭が新設され、各種市民団体などに活用されています。

# 弘道館の震災と復興

弘道館では、建物の内壁外壁の剥離・落下・ひび割れ、建具の損傷、瓦のずれや落下、弘道館記碑の一部崩落など、甚大な被害が生じました。

弘道館は明治維新の戦災、水戸の空襲などの災害を乗り越えて、今日に引き継がれています。この文化財を大事に残そうと、弘道館の復旧工事は、県有部分は茨城県により平成24年4月より開始され、重要文化財を含む国有部分は文化庁により平成24年12月より開始されました。

## 正庁・至善堂の復旧工事

### 復旧工事中の正庁玄関



平成26年3月27日には弘道館が全面復旧し記念式典が開催されました。正庁・至善堂などの建物の復旧工事では屋根の全ての瓦が降ろされて柱の傾きが正されました。また瓦は1枚1枚ひび割れないか調べられ、選別されました。2万5千枚の瓦のうち、創建時の瓦は6%、昭和の修理瓦は28%、今回の復旧での瓦は66%となりました。

重要文化財である正庁・至善堂をはじめとする建造物の復旧工事では、創建時の工法を踏まえた伝統的な技法で実施されました。加えて文化財を未来へと引き継ぐための耐震補強など新たな技術が駆使されました。

### 彫刻漆喰の復旧



### 壁の修復



### 壁紙の張り替え



### 屋根裏の耐震補強



### 床下の耐震補強



藩主が滞在する正庁・至善堂の2間で二重床構造が確認されました。

# かいらくえんこうえん こうどうかん せいび 偕楽園公園・弘道館の整備とまちづくり

## 偕楽園公園整備計画

水と緑と歴史のまちづくりに向けて、偕楽園と千波湖を中心とした低地に緑あふれる空間を残そうという考えは30数年前からあり、昭和61年(1986)に面積約300ヘクタールに及ぶ大規模な公園を作る計画が「偕楽園公園整備計画」として発表されました。

整備の基本になる考え方は右の4つです。  
台地に囲まれた千波湖と桜川、沢渡川、逆川などの水辺や谷の各所に、地形と自然の植生を生かしたさまざまな施設や遊歩道などが作られ、いろいろな楽しみ方ができる場所を作る計画で、自然の地形と景観を生かして偕楽園を作った斉昭の思想を現代によみがえらせたものといえます。

これが完成すると、市街地内にありながら水と緑あふれる素晴らしい都市公園になります。現在約220ヘクタールが完成しています。

### 整備基本方針

- 1、自然や歴史的な景観を復元し保全する
- 2、身近に親しめる水辺づくり
- 3、地域と密接に結び付く公園計画
- 4、台地の眺望を生かしたまちづくり

## ぜんこくとしりょくか 全国都市緑化フェア



四季の原



月池

偕楽園公園の整備は、平成5年(1993)の全国都市緑化茨城フェアをきっかけに大きく進みました。フェア開催を目指して、偕楽園の下から千波湖、桜川上流にかけての整備が一挙に進んだのです。

汚れていた千波湖の水をきれいにするため、千波湖底の泥さらいと那珂川のきれいな水を千波湖に導びく設備が作られました。

偕楽園下の桜川と沢渡川の改修、桜山駐車場や田鶴鳴梅林が作られ、新しい桜川の上流にかけて両岸が土盛りされて四季の原と月池が作られメインイベントの会場となりました。

## 偕楽園公園の現状

①千波公園 さくら広場には、平成10年NHK大河ドラマ「徳川慶喜」のロケ設備として「慶喜館」が設置され、平成22年に映画「桜田門外ノ変」オープンセットが作られました。いずれも撤去されましたが、さまざまな行事の会場となっています。

平成25年、千波湖中に噴水3基を設置。好文カフェと親水デッキが設置されました。

②好文亭表門通り 平成24年、向井町雷神下から好文亭表門に通じる通りが整備され景観が一新されました。弘道館から旧県庁、水戸芸術館や中心市街地を通過して好文亭表門へ行く格好の散歩道、「一張一弛」の道ができました。



好文カフェと親水デッキ



好文亭表門通り



### ③ 沢渡川緑地

西端の常磐大学下に芝生広場が完成しました。



### ④ 西の谷

緑に囲まれた谷間に駐車場が完成し偕楽園や中心市街地への通路が整いました。遊歩道や薬草園が設置されています。



### ⑤ 紀州堀緑地

梅香トンネル出口から千波湖に通じる道路の両側にポケットパークや展望広場が完成しました。



### ⑥ 逆川緑地

逆川沿いの谷間に、歴史広場の「浴徳泉の碑」をはじめ漱石所跡、復元された笠原水源など笠原水道に関する展示、ピクニック広場やわんぱく池、自然ふれあいの池。いきものたちの広場、湿生植物観察エリア、野鳥の森など学びと遊びとくつろぎのオアシスができています。ホタルの再生も始まっています。

### ⑦ 桜川緑地

桜川は滝下橋から下流がコンクリートの水路となり、左岸（台地側）には遊歩道が整備されました。右岸の桜川駐車場より上流は川沿いに堤防と遊歩道が完成していますが、洪水の時に水を溜める遊水地となる予定の緑地は自然の湿地のままです。

## 弘道館と旧水戸城内の整備

旧弘道館の敷地内に昭和5年(1930)に新築された旧茨城県庁は震災復旧工事の結果建設当時の外見を取り戻し、同時期に建設された隣接する低区配水塔とともに昭和初期の景観がよみがえりました。

旧水戸城内では、旧彰考館跡の近くに二の丸展示館が新設され、塀の白壁塀化、城下に降りる坂の拡幅と杉山門、柵町坂下門の建設など歴史を感じられる空間の整備が行われています。旧水戸城の大手門と二の丸角櫓の復元も計画されています。